

科目名 (科目番号)	比較文化論 (083841)	教員名 塚原 孝	学科等	共通	選択	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー			非常勤	
授業概要	グローバル化とIT・ネット化時代といわれ、日々異文化に接し、異文化所有者を身近に迎える私たちは、それらについて知らないでは生活できない複雑な時代に暮らしています。そこでこの講義では、日本人が日々に接し関係の深い、世界の主要文化の諸相と特徴を学び、理解を深めたいと思います。それらの文化相互間の類似性と相違、考え方や行動様式や価値観の違い等について学び、各人の世界の諸文化についての知識を深めることで、医療関係の働き手を志すみなさんが今後の実際に異文化交流するための一助となればと思います。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	比較文化概論	到達目標:「比較文化論」とはどのようなものか、そのあらましを理解する。 学習内容:「比較文化」とは何かについて学ぶ。				
	2	日本人による日本文化論・日本人論	到達目標:我々日本人が、自分たちをどのように捉えている(きた)か理解する。 学習内容:日本人によって書かれた「日本文化論」「日本人論」を中心に学ぶ。				
	3	外国人による日本文化論・日本人論	到達目標:外国人の人々が、日本文化と日本人をどのように捉えている(きた)か理解する。 学習内容:外国人によって書かれた「日本文化論」「日本人論」を中心に学ぶ。				
	4	西欧文化の源流・古代ギリシャ・古代ローマの文化	到達目標:現代の世界で大きな影響力を持つ欧米文化の源流・背景について理解する。 学習内容:古代ギリシャ・ローマ文化を中心に学ぶ。				
	5	ヨーロッパ文化1・ラテン系文化	到達目標:ヨーロッパの中でラテン系とされる文化の諸相と特徴について理解する。 学習内容:イタリア・フランス・スペインなどの国々の文化を中心に学ぶ。				
	6	ヨーロッパ文化2・ゲルマン系文化	到達目標:ヨーロッパの中でゲルマン系とされる文化の諸相と特徴について理解する。 学習内容:イギリス・ドイツなどの国々の文化を中心に学ぶ。				
	7	ヨーロッパ文化3・スラヴ系文化	到達目標:ヨーロッパの中でスラヴ系とされる文化の諸相と特徴について理解する。 学習内容:ロシアをはじめとする東欧の国々の文化を中心に学ぶ。				
	8	アメリカ文化	到達目標:移民の国であるアメリカの多様な文化の諸相と特徴について理解する。 学習内容:アメリカの文化について学ぶ。				
	9	世界の宗教1・キリスト教文化	到達目標:最も多くの国々に布教されているキリスト教について、その概観を理解する。 学習内容:キリスト教について、その発生と歴史・文化の諸相と特徴を学ぶ。				
	10	世界の宗教2・イスラム教文化	到達目標:日本人にとってはなじみの薄いイスラム教について、その概観を理解する。 学習内容:イスラム教について、その発生と歴史・文化の諸相と特徴を学ぶ。				
	11	世界の宗教3・仏教文化	到達目標:三大宗教の中で最も古い歴史を持つ仏教について、その概観を理解する。 学習内容:仏教について、その発生と歴史・文化の諸相と特徴を学ぶ。				
	12	アジア文化1	到達目標:日本とも密接な関係のある東アジアの文化の諸相と特徴について理解する。 学習内容:中国や韓国などの国々の文化を中心に学ぶ。				
	13	アジア文化2	到達目標:大国インドを含んだ東南アジアの文化の諸相と特徴について理解する。 学習内容:インド・インドネシア・マレーシアなどの国々の文化を中心に学ぶ。				
	14	西洋文化と東洋文化	到達目標:「西洋」と「東洋」それぞれの文化の諸相と特徴、その違いについて理解する。 学習内容:いわゆる「西洋文化」「東洋文化」について学ぶ。				
	15	世界の文化的宗教的交流と対立、民族紛争	到達目標:現在も絶え間なく続く、「宗教対立」「民族紛争」について、理解する。 学習内容:イスラエルとパレスチナの紛争、東欧圏・旧ソ連の民族紛争などを中心に学ぶ。				
成績評価の方法・基準	学期末のレポート(50%)+授業内で指示する課題(50%)によって評価。						
教科書	(毎回作成資料を配布します)						
参考図書							
教員からのメッセージ	グローバル化とIT等の発達により、異文化理解が不可欠の情勢です。世界の様々な出来事に関心をもち、同時に、身近なちょっとした出来事にも目を向けるようにしてみてください。世の中は自分の知らないことばかりなんだと知ることが、まず第一歩になります。						